

iSeisBayes 最終報告会 プログラム

日時：2023年 2月21日（火） 13:00～18:00

場所：地震研究所1号館セミナー室、オンライン

司会：長尾大道（東京大学地震研究所）

事務局からの諸注意

1. 開会の言葉 13:10～13:15
佐竹健治（東京大学地震研究所 所長）
2. 「情報計測」研究領域研究総括のご挨拶 13:15～13:20
雨宮慶幸 研究総括（高輝度光科学研究センター 理事長）
北川源四郎 副研究総括（東京大学 数理・情報教育研究センター 特任教授）

3. 研究代表者の挨拶 13:20～13:25
平田直（東京大学名誉教授）研究代表者

4. 研究発表
長尾大道（東京大学地震研究所） 13:25 ～ 13:30
「iSeisBayes の概略説明」

[地震計測データからのイベント検出]

- 石瀬素子（東京大学地震研究所） 13:30 ～ 13:45
「地震計測ビッグデータの活用に向けて：首都圏地震波形データセットの構築」
- 矢野恵佑（統計数理研究所） 13:45 ～ 14:00
「深層学習とスパース推定による地震・測地イベント検知手法開発—複数観測点という視点—」
- 栗原亮（神奈川県温泉地学研究所） 14:00 ～ 14:15
「新たな微小地震検出手法の開発」
- 長尾大道（東京大学地震研究所） 14:15 ～ 14:30
「深層学習に基づく地震計古記録からの低周波微動の検出」

休憩(10分)

[地下構造モデリング]

- 森川耕輔（大阪大学大学院基礎工学研究科） 14:40 ～ 14:55
「本震直後における余震の時間分布推定の高度・高速化」
- 吉光奈奈（京都大学大学院工学研究科） 14:55 ～ 15:10
「ベイジアンフレームワークにおける non-Gaussian 型確率密度関数を利用した震源パラメタの推定」

- 倉田澄人（九州大学マス・フォア・インダストリ研究所） 15:10 ～ 15:25
「地下の速度構造変化を捉えるスパース正則化を用いた地震波速度トモグラフィ」
- 椎名高裕（産業技術総合研究所） 15:25 ～ 15:40
「MCMC 法による地震震源と速度構造の同時推定：構造境界を含む領域への拡張」
- 伊藤伸一（東京大学地震研究所） 15:40 ～ 15:55
「大規模データ同化に基づくスロースリップ断層摩擦特性空間分布不確実性の高解像評価」

休憩(10分)

[地震波動伝播モデリング]

- 加納将行（東北大学） 16:05 ～ 16:20
「データ同化を用いた地震波動場イメージング手法の開発」
- 椎名高裕（産業技術総合研究所） 16:20 ～ 16:35
「長周期地震波動場の推定に向けた SWG 法の最適化」
- 中井公美（産業技術総合研究所） 16:35 ～ 16:50
「プロセス駆動型地震波動場再構成に向けた観測点選択手法の開発」
- 永田貴之（東北大学大学院工学研究科） 16:50 ～ 17:05
「主成分分析による地震波動場のデータ駆動型低次元モデルの構築と波動場即時再構成への応用」

[インテリジェント地震波動解析システムの構築]

- 中川茂樹（東京大学地震研究所） 17:05 ～ 17:20
「インテリジェント地震波動解析システムの構築と今後に向けて」

5. 総合討論 17:20~17:30
6. プロジェクト終了にあたっての言葉 17:30~17:40
野々村拓（東北大学大学院工学研究科） 主たる共同研究者
駒木文保（東京大学情報理工学系研究科） 主たる共同研究者
平田直（東京大学名誉教授） 研究代表者
7. 総評 17:40~17:50
北川源四郎 副研究総括（東京大学 数理・情報教育研究センター 特任教授）
雨宮慶幸 研究総括（高輝度光科学研究センター 理事長）
8. お礼の言葉 17:50~17:55
平田直（東京大学名誉教授） 研究代表者
9. 写真撮影

18:00 閉会

プログラムは当日、変更になる場合がございます。ご了承ください。